

西区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
西区写真展		西区写真展実行委員会			
事業目的	事業内容	活動指標	R1	R2	R3
<p>西区に在住・在勤・在学する者が撮影した、西区内のお気に入りの場所・心に残る風景・地元自慢の行事など大好きな西区の魅力が表現されている写真を募集・展示することにより、わがまちの特性の再発見並びに区意識の高揚を図ることを目的とする。</p>	<p>西区在住・在勤・在学者から西区の魅力が表現されている写真を募集し、応募作品のすべてを西区役所玄関ホールにて展示する。一般の部と高校生以下の部の2部門に分けて賞を設け、作品を募集する。</p>	<p>応募作品数 (応募人数)</p> <p>来場者アンケートによる満足度(「大変よかった」「良かった」の割合)</p>	<p>109点 (109人)</p> <p>82%</p>	<p>107点 (107人)</p> <p>91%</p>	<p>90点 (90人)</p> <p>87%</p>
①妥当性		②協働の視点		③インパクト	
○	<p>暮らしのなかで区民が発見した様々な魅力あるシーンを写真作品として展示することで、区の魅力をPRすることができた。近年のコロナ禍の中、わがまちの特性の再発見並びに区意識の高揚が図られ、事業を実施する妥当性が高い。</p>	○	<p>企画段階から区民が実行委員として参画しており、事業計画の検討や入賞作品の審査を行った。また事業の広報や応募作品のとりまとめ等を地域住民が担った。行政は事務局としてサポートしており、区民と行政が協働で実施している事業である。</p>	○	<p>区役所の玄関ホールで応募全作品を展示することで、ほかの物件で区役所を訪れた方にも写真展を楽しんでいただけた。</p>
④効率性		<p>応募方法については、今年度は初めて電子申請システムの受付を行った。電子申請システムの受付が半数以上あり、応募者への通知や管理を一括で行うことができたので、効率性が上がった。</p>			
⑤自立発展性		総合評価			
△	<p>予算や展示場所の確保等が難しく、区民が自立して取り組むことは困難であり、今後も行政と区民の協働実施が望ましい。だが、西文化会館も同様に写真講座・写真展等を実施しているので、西区として事業の整理は必要。</p>	○	<p>見学者アンケートの「大変良かった」「良かった」の割合は合計87%あり、作品展としての満足度は高かったとみられる。全体の応募数は昨年から減少したものの、若年層からの応募数は昨年とあまり変わらなかった。長く愛されている事業で毎年応募している方も多いが、今回は応募者90人中43人が初めての応募者であり、広い世代に広がりを見せていることから、写真展をきっかけにわがまちの特性の再発見並びに区意識の高揚につながっていると考えられる。</p>		
今後の方向性(課題、改善提案等)					
<p>拡充 継続 見直し 廃止</p>	<p>今回で24回目の実施となる西区写真展は、地域住民にも定着し、毎年楽しみにしておられる方も多くいる。今年度も新型コロナウイルス禍により地域行事等も少ない中、90点の応募があったが、秋から冬の作品が多いと感じられた。アンケートによると応募者の約80%が秋と冬に撮影した写真であり、季節の偏りが見られるため、写真展開催の周知を早めに行うことも検討していきたい。また今回は応募方法に電子申請システムを加えたところ、半数以上が電子申請システムでの応募であった。次年度以降、実行委員や区民の意見、アンケートを踏まえながら、周知の時期や応募方法の見直しを進めるとともに、より幅広い世代が参加しやすい方法を検討していきたい。</p>				